

サービス見込み量進捗管理作業シート

計画値：令和4年度、実績値：令和5年3月末
( 12 ヶ月分)

保険者名	清須市
------	-----

ステップ1：認定率の比較

				認定者数		第1号被保険者数		
				(人)		(人)		
				計画値		実績値		
				計画値		実績値		
要介護認定率				16.8%	16.6%	0.2%	2,736	2,695
年齢階級	前期高齢者		3.7%	計画段階で、前期、後期の区分で分けた数値が想定されていないため、比較できない。				274
	後期高齢者		27.3%	計画段階で、前期、後期の区分で分けた数値が想定されていないため、比較できない。				2,421

ステップ2：利用者数の比較

サービス名	単位	計画値	実績値	達成率 (実績値/ 計画値)	乖離 の有無	現状の分析とその確認方法 課題、対応の必要性について	実績値 (年度累積)	
居宅サービス	訪問介護	人/月	415	392.7	95%		4,712	
	訪問入浴介護	人/月	35	30.5	87%		366	
	訪問看護	人/月	225	256.3	114%		3,076	
	訪問リハビリテーション	人/月	37	29.8	81%		358	
	居宅療養管理指導	人/月	420	458.0	109%		5,496	
	通所介護	人/月	581	550.9	95%		6,611	
	通所リハビリテーション	人/月	162	205.2	127%	乖離あり	利用者数が増加しているが給付額は減っている。これは、重度者より軽度者の利用が増えたことによる。	2,462
	短期入所生活介護	人/月	144	149.2	104%		1,790	
	短期入所療養介護（老健）	人/月	3	0.5	17%	乖離あり	過去の実績から3人の利用を見込んでいたが、月によりばらつきがあったため。	6
	短期入所療養介護（病院）	人/月						0
福祉用具貸与	人/月	792	1,056.9	133%	乖離あり	利用者数は増加しているが給付額は見込みどおりである。移動にまつわる用具(比較的安価なもの)が多く利用されたため。	12,683	
特定施設入居者生活介護	人/月	90	66.3	74%	乖離あり	令和4年度に市内に開設した事業所への入所者数が想定ほど伸びなかったため。	796	
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	人/月	2	2.8	142%	乖離あり	住所地特例者の利用を2人見込んでいたが、月によって2人以上の利用があったため。	34
	夜間対応型訪問介護	人/月						0
	認知症対応型通所介護	人/月	1	0.8	75%	乖離あり	住所地特例者の利用を1人見込んでいたが、月によっては利用がなかったため。	9
	小規模多機能型居宅介護	人/月	28	23.2	83%			278
	認知症対応型共同生活介護	人/月	42	36.2	86%			434
	地域密着型特定施設入居者生活介護	人/月						0
	地域密着型介護老人福祉施設	人/月						0
	看護小規模多機能型居宅介護	人/月						0
地域密着型通所介護	人/月	110	100.3	91%			1,204	
施設サービス	介護老人福祉施設	人/月	328	317.2	97%			3,806
	介護老人保健施設	人/月	138	130.8	95%			1,570
	介護医療院	人/月	40	38.4	96%			461
	介護療養型医療施設	人/月	1	0.0	0%	乖離あり	介護医療院への移行が完了したため。	0
介護予防支援・居宅介護支援	人/月	1518	1,478.9	97%			17,747	

ステップ3：受給者1人あたり給付費の比較

				(千円/月)	給付費 (円/年) (%)			
サービス名	計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法	計画値	実績値	対計画値	
居宅サービス	訪問介護	104,909	110,002	5,092		522,449,000	518,328,009	99%
	訪問入浴介護	69,786	70,153	368		29,310,000	25,676,089	88%
	訪問看護	46,849	44,463	-2,386		126,492,000	136,766,942	108%
	訪問リハビリテーション	37,782	30,039	-7,742	リハビリという特性上状態の回復などには個人差が大きく、利用回数の変動が大きいため。	16,775,000	10,754,071	64%
	居宅療養管理指導	13,158	12,642	-516		66,314,000	69,479,250	105%
	通所介護	96,836	88,870	-7,966	新型コロナウイルスの影響もあり、1人あたりの利用回数が著しく減少したため。	675,144,000	587,521,406	87%
	通所リハビリテーション	68,644	43,485	-25,159	利用者数が増加しているが給付額は減っている。これは、重度者より軽度者の利用が増えたことによる。	133,443,000	107,059,758	80%
	短期入所生活介護	147,368	122,670	-24,698	利用者数は、ほぼ見込みどおりで、想定より軽度者の利用が多かったため。	254,652,000	219,579,063	86%
	短期入所療養介護（老健）	128,111	133,341	5,230		4,612,000	800,046	17%
	短期入所療養介護（病院）					0	0	
地域密着型サービス	福祉用具貸与	13,010	9,849	-3,161		123,649,000	124,914,229	101%
	特定施設入居者生活介護	201,901	187,133	-14,768	令和4年度に市内に開設した事業所への入所者数が想定ほど伸びなかったため。	218,053,000	148,958,083	68%
	定期巡回・随時対応型	139,917	197,568	57,652	住所地特例者の利用が想定以上だったため。	3,358,000	6,717,324	200%
	夜間対応型訪問介護					0	0	
	認知症対応型通所介護	91,333	99,568	8,234		1,096,000	896,109	82%
	小規模多機能居宅介護	172,339	164,937	-7,402	新型コロナウイルスの影響もあり、1人あたりの利用回数が著しく減少したため。	57,906,000	45,852,542	79%
	認知症対応型共同生活介護	254,512	255,154	642		128,274,000	110,736,868	86%
	地域密着型特定施設入居者生活介護					0	0	
	地域密着型介護老人福祉施設					0	0	
	看護小規模多機能型居宅介護					0	0	
施設サービス	地域密着型通所介護	60,346	47,280	-13,066	新型コロナウイルスの影響もあり、1人あたりの利用回数が著しく減少したため。また、令和4年度に1事業所が廃止となったため。	79,657,000	56,925,277	71%
	介護老人福祉施設	278,475	277,963	-512		1,096,077,000	1,057,926,172	97%
	介護老人保健施設	278,787	284,991	6,203		461,672,000	447,435,338	97%
	介護医療院	399,954	354,970	-44,985		191,978,000	163,640,966	85%
	介護療養型医療施設	342,833				4,114,000	0	0%
介護予防支援・居宅介護支援	12,863	13,099	236		234,312,000	232,469,041	99%	

ステップ4：サービス提供体制に関する現状と課題（地域密着の整備についても含め）

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用回数の乖離が見られるサービスが複数存在している。昨今の情勢を踏まえ、第9期計画での利用者数や給付費の見込みの修正を随時行っていく。  
また、今計画から日常生活圏域を1か所から4か所に見直しを行ったため、各地域の実情に応じた地域密着型サービスの整備を行っていくことが課題となっている。

ステップ5：地域密着型サービスの整備状況

サービス名	計画値	整備数	達成率 (整備数/計画値)	現状、整備を図るうえでの課題・整備見込
定期巡回・随時対応型 (施設数)	0	0		現在、市内に事業所は無いが、市外事業所の利用者があるため次期計画に向けて、施設整備の一環の中で、整備の検討が必要。
夜間対応型訪問介護 (施設数)	0	0		—
認知症対応型通所介護 (施設数)	0	0		—
小規模多機能居宅介護 (施設数)	2	1	50%	10月に公募を実施したが、不調となった。既存の事業所の登録者数が定員に達しつつあるので、来年度も引き続き公募を実施する。
認知症対応型共同生活介護 (定員数(人))	3	3	100%	—
地域密着型特定施設入居者 生活介護(定員数(人))	0	0		—
地域密着型介護老人福祉施設 (定員数(人))	0	0		市内に広域型施設が3か所整備されているため、充足していると考えられる。
看護小規模多機能型居宅介護 (施設数)	0	0		—
地域密着型通所介護 (施設数)	5	4	80%	令和4年度に1事業所廃止となった。また、令和5年度中に1事業所廃止となる予定なので、今後さらなる整備計画が必要。

・令和4年度は、小規模多機能型居宅介護の公募を行った。小規模多機能型居宅介護は、9月から10月にかけて公募を実施したが、不調となった。既存事業所の登録者数は定員に達しつつあり、来年度も引き続き公募を実施する。